

令和5年度 多摩市立南鶴牧小学校 学校評価書

学校教育目標	
かしこく なかよく たくましく	
目指す学校像(学校経営ビジョン)	
(1) 子供の側に立った教育活動を推進し、生きる基盤となる「知」「徳」「体」を育む。 (2) 社会の中で生きている自分自身になるための、基礎を構築する。 (3) 諸施設、人材といった地域資源・環境資源や家庭と連携・協力し、教育力の相乗効果を生む。	
目指す子供像	目指す教師像
(1)学んだ知識を知恵に高め実践する児童 (2)思いやりの気持ちと社会性をもち実践する児童 (3)健康な心と体を持ち、頑張り、やり遂げる児童 (4)さまざまな関わりを大切にし、関わりをよりよい生活に生かす児童	(1)SDGs 達成に向けて児童の人材育成を図る教師 (2)児童理解を基本に、誰もが生き生きと生活する社会を実現する教師 (3)困難に立ち向かい、克服していく教師 (4)家庭や地域と連携して教育活動を進める教師

I 自己評価結果と学校関係者評価の状況

(1) 確かな学力の育成

重点目標	①「学習規律の確立」②「基礎学力の習得」 ③「学びの質を高める」(含ESD)			
評価項目 (目標とする成果・指標 %)	自己評価		学校関係者評価	
	評語	現状の分析と改善策	評語	学校運営協議会委員の意見
日常の授業を通じて、意欲的な姿勢を評価。評価90%	4	保護者、児童、教職員で90%を超えている。授業研究の成果。	A	・学校公開の様子から工夫して授業を行っていることが分かる。 ・デジタルが重用される時代になったが、読書を大切にしている活動は長く続けてもらいたい。
読書活動の充実と全教科・領域を通じた、言語表現活動の活性化。評価90%	4	昨年度から飛躍的に肯定的評価が伸びた。今年度はA評価が13ポイント伸びている。	A	
思考したことを伝える学習の構築と、それらを表現する多様な方法論の実践。	3	対話的な授業を通じて、伝え合う力の育成を重点とした。	B	
評価のまとめ	本校として学力向上のために対話的な学習、伝え合う力の育成を重要課題として取り組んできた。この内容に関しては内外から高い評価をいただいているが、対話的な学習をより深めていくことが今後の課題になる。読書活動に関しては教員の意識が高まり、地域との連携もより密になった。			

【評語について】

自己評価			学校関係者評価	
評語	達成状況	成果指標	評語	自己評価の適切さ
4	申し分なく達成した	90%以上～100%	A	適切である
3	おおむね達成した	70%以上～90%未満	B	おおむね適切である
2	やや下回った	40%以上～70%未満	C	適切でない
1	大きく下回った	40%未満	D	評価は困難である

(2) 豊かな心の育成

重点目標	①「道徳教育の充実」②「生活指導の充実と徹底」 「人との関わりを重視した教育活動の実践」			
評価項目 (目標とする成果・指標 %)	自己評価		学校関係者評価	
	評語	現状の分析と改善策	評語	学校運営協議会委員の意見
他者との関わりを重点とした道徳科授業の充実と積極的な授業公開。保護者評価90%	3	保護者地域の評価が86パーセントであった。望ましい児童の姿を明確にすることが必要か。	B	・人と人とのつながりを重点に据えたことはとてもよいこと。公開講座の内容もよかった。 ・子ども同士のいじめが発生するのは仕方が無いが、対応をしっかりとしているようなので今後も継続してほしい。
校内、学校運営連絡協議会、地域とのいじめ情報共有・防止と児童の安心・安全の確保 重大事態の発生「0」	3	アンケート等により年間約90件程度の報告がされ、すべての件について確認、指導を行った。	B	
異学年・地域・支援級との交流活動と成果。評価85%以上	3	87パーセントの評価があった。児童だけではなく、教員間の連携も充実させたい。	B	
評価のまとめ	他教科の授業や読書活動に比べて、道徳科の学習に関する発信が十分でなかったことを学校として自覚している。 支援教室や支援学級と通常の学級在籍児童の交流は内容を見直し、回数も増えた。評価も高くなった。			

(3) 健やかな体の育成

重点目標	① 運動に親しむ資質・能力の育成 ② 心のたくましさの育成 ③ボランティア・マインドの育成			
評価項目 (目標とする成果・指標 %)	自己評価		学校関係者評価	
	評語	現状の分析と改善策	評語	学校運営協議会委員の意見
体育授業等の充実による運動する楽しさの実感。評価85%	3	保護者地域からは高い評価をいただいている。教員も高まった。	B	・本校には天然芝の校庭という環境があるので、今後もどんどん活用してほしい。 ・行事における達成感をほとんどの児童が感じているのはよいこと。
行事に取り組む意識向上と心の育成。児童評価90%	4	児童評価は96%。コロナ禍を超えて存分に取り組めた。	A	
ボランティア・マインドを育む奉仕活動、芝生維持活動の実施。教員・児童評価85%	4	85%を超えた。児童会の学校運営参画の効果がある。	A	
評価のまとめ	昨年度の課題となった体育授業等の充実に関しては外部評価の数値の高まりがあり、一定の成果を収めたと考える。学校行事に関しても運動会の実施時期変更などがあってもかかわらず、多くの保護者・地域から肯定的な評価があり、学校の取組への理解が広がっていると感じる。			

(4) 家庭や地域との連携

重点目標	① 教育活動の情報発信の徹底 ② コミュニティ・スクールを見通した地域学校協働本部の活動推進 ③ 合唱団の活動を通じた家庭・地域連携と貢献			
評価項目	自己評価		学校関係者評価	
	評語	現状の分析と改善策	評語	学校運営協議会委員の意見
学校便り、HP、配信メールを通じた徹底した情報共有と教育活動への協調・協働。 地域・保護者評価 95%以上	4	HPでは、ほぼ毎日教育活動や学校周辺の様子を配信している。最近500万閲覧を超えた。市の情報も保護者LINEを活用。	A	・HPを使った情報発信はとても豊富で楽しみにしている。一方で更新頻度を多くしすぎて負担になっていないか心配である。
学校運営連絡協議会、地域学校協働本部、放課後こども教室、地域未来塾を統括する組織の運営	4	保護者からの評価が高い。更なる周知や情報発信を望む声が高い。	A	・地域団体主催の取組やイベントへの参加数が増えている。
合唱団の公演活動による地域貢献活動を保護者との協働により実施。保護者評価 90%以上	4	合唱団の活動へ否定的な評価はほとんどない。今年度は地域行事へ参加が増え、団に在籍していない児童の家庭からも支持を得た。	A	・合唱団が地域イベントに多く参加しているのは、とてもうれしいこと。
評価のまとめ	今年度もホームページによる積極的な情報発信を心掛けた。保護者だけではなく、本校への入学を検討されている方々にも注目していただいていることを実感している。地域団体をはじめ、校外の方々にも理解を広げていくことでコミュニティスクールの使命が果たせると考えている。			

2 次年度に向けた学校経営の方向性、課題等

<p>【学校運営全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若手教員の育成を図り、保護者・地域から信頼される学校を目指す。 ・徹底事項の浸透を図り、誰が担当しても一貫性のある教育活動を行い、信頼を勝ち取っていく。 <p>【確かな学力の育成】【豊かな心の育成】【健やかな体の育成】【家庭や地域との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学年の算数習熟度別授業、地域未来塾、自主学習、交換授業等、今まで行っていた取組を継続し、学習意欲、基礎学力、思考力を育成する。 ・コミュニティスクールの特色を生かし、地域内外の外部人材による多面的な学習を設定する。 ・「人との関わり」を重点として道徳科や異学年・地域・支援学級との交流を継続的に進め、いじめの未然防止ともする。 ・支援学級と通常の学級の教員が授業実践を含めた交流を進める。 ・芝生校庭の特性を生かした運動に親しむ活動や魅力的な体育授業の実践によって、児童の健やかな体の育成を実践する。 ・コミュニティ・スクールを有効に機能させ、児童が学校運営協議会へ参加するなど、地域の協力を得ながら児童の参画意識を高める。 ・合唱団の活動を、地域学校協働本部とも連携しながら、推進していく。その活動の中で、児童が得られた達成感を、より広く全校児童に伝播させていく

以上のとおり報告いたします。

令和6年3月1日

多摩市立南鶴牧小学校 校長 森 信行

公印

令和5年度 学校評価書



多摩市立南鶴牧小学校